

鎌仲ひとみ監督のビデオター「カインとダビリ」

小さな声に耳を傾け、子どもたちの未来を見つめる旅

原爆事故直後から、「汚染はたいしたことがない」「これくらい
被ばくは大丈夫」という声がどんどん大きくなってきました。権威ある
人々が大きなメディアを通してこのようなメッセージを流布しています。
しかし、子孫を持つ母親たちは、子どもを被ばくから守ろうと闘い
続けています。大きな声に流される人々が多量々を占めていく中で、
母親たちの小さな声がかき消されていくとしている今、その声に
耳を傾けていただきたいとこの映画をつくることにしました。

鎌仲ひとみ

鎌仲監督が今製作中の映画「小さな声のカイン～選択する
人々(仮題)」のメッセージの板料です。☆

映画を製作しつつ、1時間ほどのビデオターを作って新着情報を
発信してくれているのですが、「あいたね」主催でビデオター「カイン
とダビリ vol.1」をみんなで見たいと思います。(詳しくはイベント欄で)

内容は、チェルノブイリ原爆事故後のベラルーシの被ばくの果敢の
レポート。子孫たちを守りたいと全国から集まり首相官邸前で
訴えた「100万人の母たち」がレポートされています。

写真家 亀山ののこさんを中心に集った「100万人の母たち」の
重さを... 私は見たらとても勇気・元気が湧いて、私もみんなと
つながって力になりたい!! と思いました。ぜひ見てもらいたいです

映画の製作資金
へのカンパを
募集しています!

ビデオター「カインとダビリ」
自主上映会が開けます。

😊 by ⑧

詳しくは www.kamanaka.com